

合格体験記 9

横浜市立大学 国際教養学部・国際教養学科 進学

他の主な合格校 : 法政大学・社会学部、東洋大学・社会学部(セ利用3科、4科)

亜細亜大学・国際関係学部(セ利用)

1 志望校決定について

社会の課題全般に興味があり、また当時国際関係学も勉強したいと思っていたので国公立大で勉強できるところで選びました。また文系で都市について学べるところもよいと思いました。科目選択の後くらいに第一志望校を横浜市立に決めました。

2 学習計画について

(1) 1、2年次の学習について

1、2年の時は授業を聞いて出来るだけわからないところをなくして(数学など)テストに臨んでいました。

(2) 2年3月から受験本番までの具体的な学習法

2年生3月から3年1学期は授業に集中して復習をすると疎かにしないようにしました。センターの割合が高かったので夏からセンター前は点数配分に合わせて時間をかけ、センター対策をしました。数学はできなかつたので嫌でも毎日ふれるようにしました。朝は理科基礎とか、自習室で家に帰る30分前から単語を初めて暗記とか大体時間を決めてやると楽しいと思います。計画を立ててそれをふせんに書いて1日のやることを自習室の机に貼るなどやる気が出るように工夫しましたが、これだ!というものは見つかりませんでした。

(3) 利用した参考書・問題種、その利用法

東進の日本史一問一答は用語集のように使いました。例えば選択肢で迷った用語や雰囲気似ていて紛らわしい用語を調べる時です。

vintage や plus などの英語の文法対策は何周もするといいと思います。

どうしても覚えられない単語はその単語が書いてある欄の余白などにイメージできるイラストや図を書いてそれと一緒に思い浮かばせるようにしました。

過去問は赤本(私立大は進路室のものを借りて第一志望校のものだけ買った)と東進のデータベースを使いました。

(4) 模試の活用方法

模試で何割取ればいいのかセンターから逆算して目標を立てそれに向かって何をするか具体的にやることを決めました。模試は復習をして、次に同じ問題又は類似の問題が出た時に間違えないようにしていました。

(5) 予備校の活用方法

予備校は使ってないです。自分で計画を立てるのが大変で、自分に必要なことを見極めて勉強していくことが必要。逆に自分にぴったりの勉強プランを作ることができると思います。

(6) 部活動・行事・委員会活動・趣味などとの学習の両立

部活、行事は最後までやると同じ志望校の人と比べて遅れていると思いだらだらできなくなるのでやり抜くべきだと思います。しんどくなると youtube に逃げってしまう事があるかもしれませんが見過ぎて我に帰った時さらにつらい気持ちになります。でもある程度の娯楽は必要だし、メリハリをつけて楽しむ分には娯楽はあったほうがよいと思います。

(7) 後輩へのアドバイス

学校で勉強していると休憩時間に友達と話せたり気晴らしができます。また周りに勉強している人がたくさんいる環境だと怠けることができないので、自分に甘い人は、このような環境に自分を置くのがよいと思います。人によるとと思いますが、ムサキタ内にいる友達が同じ志望校とは限らないので模試の結果を他人と比べるより自分の中で分析した方がよいと思います。でも人と比べる事でモチベーションを上げることができるならそれもよいと思います。

(8) 高校生活全般についての感想・意見・反省

勉強も部活も行事も周りにいる人のおかげでつらい時を乗り越える事ができました。ありがとうございました。充実していたと思います。

(9) 合格した時の喜び

パソコンの画面上で見た時はあまり信じていませんでしたが、母に見せたら泣いて喜んでくれました。私自身は紙の合格通知書が来るまで信じられなかったです。